

信友

信友会事務局

東京都渋谷区東1丁目32-13
ビル・ナミキ橋
電話 03-407-1192

パラダイム

信友会長

大河原 三平



近頃若い人と昔話をするとき、反応手応えがしっくりこないと感じることがある。よく考えて見ると、自分には体験であったり又ニュースとして見、聞きたりすることが相手の全くは歴史であり、お互いの時間軸上のバックグラウンドがうまく合っていないことがあるからであろう。又老人はとく昔の感覚になり勝ちなのに、若い人は現在からの想像を物差しに受止めることになるからであろう。

これが外国の事情判断となると更に複雑になる。例えば中国の国慶節のパレードのテレビ放送で、NHKのアナウンサーが中国開放軍の「影」として「今の中国の若者は一に大学二に工場労働者志向で、行く所の無い者が解放軍にでも行こうか」ということになっている。これは私の知る限りでは大変な誤りで、開放軍は大方の憧れであり狭き門のようである。間違いの原因はサンプリングの誤りと、判断の基準があまりにもある種の日本人的過ぎるからであろう。

五十九年九月西安を訪れたとき、三十歳の真面目なインテリ通訳と同行したが、観光ブームに沸く秦の始皇帝の兵馬俑では「大したも

目で眺め、民族の伝統の誇りは堅持しながら、時代の流れを敏速に把握して現実順応により、古くて新しい国造りに突進しているのだから。隣人として成功をお祈りしたい。

耄碌追想

小島 忠

公職追放解除の通知を兼ねた隊員募集の封書が届き、警察予備隊総隊学校へ入校以来、色んな事がありました。

〔六十耗〕 今は通校となつていて総隊学校では、米軍顧問の強力な指導の下に教育が進められていて追撃砲の実弾射撃、港の砂浜に数条の鉄条網を張つての潜入戦闘訓練等、今の久里浜では思いもよらぬことが少くありません。

総隊学校三部の教官として残り、その後越中島へ転任し、陸軍勤務が前後併せて十二年という羽目になりました。僅か二ヶ月余の石橋湛山を含め十数人の長官の就任訓示を受けたわけですが、今印象に残るのは数人です。

〔CP大移動〕 通信課は、越中島から霞ヶ関新庁舎の八階、更に検四町四館の四階へと移りましたが、荷物の移動もさることながら、業務と通信を途絶させないよう陸幕という大CPの移動は大変でした。

〔教育先進の職種通信〕 陸幕では最初訓練班で学校担当でしたが、先任の田島さんは、通校教材費二億円示達(今なら大変な額です)・拡充等(富校のAOは通校の数年後発足)大活躍中でした。

又三浦君は、少年隊員制度に熱心で、少年通信課程は、施設・武器工科学校に発展しました。

〔正面重視〕 横山君転任となつたので、企画班編成担当となり、自衛隊急成長時の編制表作成に追われる身になりました。山本さん

さて激変の世に生きる信友の皆さん、お互に励まし合つて時流を適確に読み、思考の枠組を進化させて柔軟性を保ち、人生八十時代を日日是れ新しく楽しく暮そうではありませんか。

通信団長には、国土防衛戦で、電電始め各種国内通信機関と通信業務について折衝できる将補の階級とその実力を期待したもので、陸幕直轄の中小通信部隊は団に編み込まれ、陸幕としても部隊としても良いことでした。通信団を見て、施設課は施設団編成にスタートしました。

〔方面通信群〕 新たに人員も予算も要求しないという五方面体制で、野外地帯両部隊を併せて指揮及び空地協同通信、写真を主任務とする群を起案したが、いきおい後方兵站通信は弱体となり、折衝して二ヶ大隊の能力を補充する方面通信課長の一佐の階級とその實力に期待したのですが、今は課長も廃止されて残念です。

〔師団通信大隊〕 十三師団体制でも通信の増員は少なく、当初通信隊の案だったが後任の竹原君が頑張つて通信大隊としました。彼は頭脳明晰で、大蔵説明は天下第一品でした。

いずれにせよ正面重視施策のため、各通信部隊の任務達成は、もっぱら指揮官の型にとらわれない融通性のある英知に頼る編制となりました。

その他の各部隊やマイク口正力幹線、幕僚での研究開発、OR等想い出は尽きません。

〔通処OB会〕 退職して十年近くになりますが、処長時代に菅野さん江守さん等多くの方々の御尽

昭和59年度 信友会 会計報告

59年11月20日現在

取	入	支	出
前年繰越金	1,940,108	慶弔費	54,410
終会費	821,000	通信費	169,250
雑収入	200,000	事務経費	193,385
利子	1,756	名簿・会誌記念品代等	1,553,805
計	2,962,864	計	1,970,850
残高			992,014

(単位:円)

以上のとおり報告します。

昭和59年11月20日

信友会 幹事 森岡 英明 ㊞

監査の結果相違ありません。

昭和59年11月20日

信友会 監事 野村 明 ㊞

21周年 総会・懇親会の御案内

信友会の二十一年を祝い、恒例のとおり、現役と共催で、新信友会(新退官通信幹部等)の歓迎を兼ねて、21周年懇親会を実施いたします。

会員の皆様の多数の御参加を希望いたします。なお、懇親会開始前に行う定期総会は、会計報告以外に特別な議題が無い場合には、省略させていただきます。

とありますので、御座承下さい。

記

一、日時 60年2月23日(土) 16時より

二、場所 東方会館(前同) 豊島区西池袋3-21-12

電話 〇三九八七〇二二

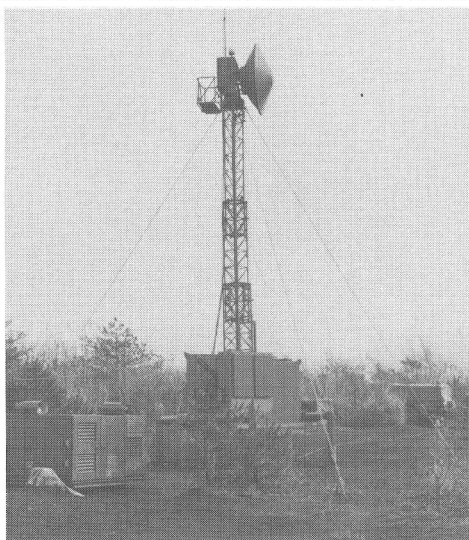
道袋駅西口から徒歩約3分。西口地下道の「西口五差路方面出口」を出てすぐ、西口南又は地上から西公園を横断して、大通りの向い側。

三、会費 六、〇〇〇円(会場代込み)

〔お願い〕

●準備の都合上、出欠について、同封のがきで事務局まで御連絡下さい。

●当日、受付は非常に混雑しますので、なるべくお早めにご来場下さい。



新搬送通信装置Ⅰ号

窮すれば通ず

三井 靖彦

不思議と窮した時には考えてもみなかった事が起って、自ら道が開かれるものだと信じている。

第2次大戦中、私は2年現役技術科士官として舞鶴海軍工廠の新米の電気検査官であった。検査工場は機関科の少佐を長として、私と同期の検査官の外はベテランの兵曹長と技手、工員約三十名から構成されていた。

事のおこりは造兵部砲弾工場の磁気探傷器が故障したのである。この探傷器は砲弾の鑄物に磁粉が入っているかどうかを検査する機械で、砲弾工場としては重要な役割を持っていた。そこで砲弾工場では色々なチャンネルを通じて電気工場や電気検査工場にその修理を依頼してきた。その都度ベテランの技師技手連中が入り変り立ち変わって修理出来ていた。

たまた「砲弾工場の同期生から電話があった。『実はこれ、しかしかて修理出来なくて困っている。一度見に来てくれませんか』との事であった。

そこで電気検査工場のベテラン技手に話して見ると「あ、あれですか。私もやっただけで駄目でした。止めた方がよいですよ」との事であったが、同期生に頼まれた手前無下にやるわけにもゆかず、とも角ベテラン工員2名の応援をうけて行く事にした。

さて行ってみると、磁気探傷器なるものはLとCの過渡現象を応用した磁化器であり、これに鋼鋼を取付けて磁化し、その後鋼鋼に鉄粉をかけると磁になった部分に強く磁化されて、鉄粉が縋るというもので、簡単な過渡現象理論と電磁気学を知っていれば容易に理解出来る代物であった。

そこでまず電源を入れるとランプが点灯し、次に操作ボタンを押

すとガチャンという音がして操作が終る。その間何等異状らしい事も無いが試料は、向に磁化されない。そこで2・3回繰返すが結果は同一であった。

次は回路の点検を始める。電源電圧正常、コンデンサは充電してオートドライバでその端子をショートするとパチッと火花が出る。この火花が点検すればコンデンサは正常と判断、次はスイッチも正常、コイルは直径三十mmの円筒状のものが3ヶ直列に結ばれている。各々の導通及び抵抗値も正常なのである。原理と回路が簡単なのに点検を終わらなうと万事休すである。工員はと見ると、同じ所をチエックして後は指揮官の判断待ちといった顔つきである。

その時ちと脳裏に浮かんだ事があった。たしか学校の実習時間にコイルには巻き始めと巻き終りがあってこれをうまく接続しないと直列にならない事を思い出した。そこで工具に命じてコイルの頭と尻尾が順序正しく直列になっているかを点検させた。その答は異常なものであった。考えてみれば尤もな話で、故障によって順序が入れかわる筈がないのである。

「やはり修理は引受けなければよかつたかな」と思いながら工員に一応機械の原理を説明し、この機械は電源とLとCとスイッチが正常ならば必ず動作するのだと説明し、工員がコイルの結線を外していろいろな組合せで試験を始めたのである。私はその当時は学校を出て間もなくであり、理論的な事は何となく理解出来たが、実際の物となると、からし駄目な自信が無かつたので工員のやり方をしばらく静観していた。所が、着磁し始めたのである。そこで砲弾工場の検査官を呼んで着磁の具

シルバー人材センターについて

後藤 芳尾

近年マスコミ等でもしばしばわが国の人口高齢化の問題が取り上げられてゐるは、信友諸兄も御承知のことと思うが、参考までにわが国の高齢化の状況について述べると次のとおりである。

人口の七割以上が六十五歳以上の国を高齢国と言つて、わが国は昭和五十七年現在九・五%で、すでに高齢国の仲間入りをしてゐる。因みに、諸外国ではスウェーデンが一・九%、西独が一・六%、ほか英国、仏蘭西、アメリカと続き日本はその次である。

更に、日本の高齢化の特徴はそのスピードが諸外国に比し甚だ早いこと、高齢者人口が五%から一・二%に達するのにスウェーデンは一〇五年、仏蘭西は一七〇年、英国は六〇年かかったが、日本は四〇年と予想されておられ、且つ諸外国に既に高齢化はストップして横這い状態であるが、日本は二一世紀に入つて更に二十年は高齢化が進行するであろうと予測されてゐる。即ち西暦二二〇〇年頃までは高齢化の一途を辿り、高齢者(六十五歳以上)の人口は人口比一八・八%となり約五千人に一人は高齢という計算になる。

この急速な人口の高齢化に対し、色々な施策が講ぜられつつあり、

つた。このような事が重なって修理を困難にした原因であった。今このような故障が生じた原因を考えてみると、砲弾工場に便利な検査機械が導入された。一度機械を点検してみたいと思つてゐる時に、点検のチャンスがあり、結果をはずして点検をし、終了の時コイルの接続を頭、尻尾の順に接続し、さて操作してみると着磁しない、修理願ひますという事になったのであらうと推測される。従つてこの故障には二つのフェイントがかつてゐたのである。

本当にあった話

山田 敏雄

右を見て、左を見ても、先輩の信友会に入会以来約一年、早いもので現役時代諸先輩より社会に出た時の心構えを数多く聞きました。が、体験するとそのきびきびが身にしみます。私も神田通信工業という電話機の会社に入りまして、当初社内用語がわからず困りましたが、最近は何となく理解出来るようになりました。先日中の方の駐屯地創立三十周年記念式典に参加いたしました。歴代駐(分)屯地司令が七名も集まり盛大でした。何か一言ずつといわれ、一年二ヶ月ぶりに京都に来ましたが、数日東京に出張し京都に帰ったような気がする」と思わず発言してしまいました。理屈はわかつてゐるのですがやはり三十年あまりの自衛官の生活が尾を引いてゐるようです。

さて、毎日、新聞、テレビにて殺伐なニュースばかりですが、高橋尚などは諸先輩におまかせするとして、私の身近に居る人々の中で、世の中捨てたものではないという、実話を記します。

(その一) 大分前ですが同僚に若い武器科幹部が居た。当時まだ少なかつたマイカー族で、昼休みに車の前でさかんに首をひねつてゐた。どうしたのかと思ひ近づくと、「山田さんワイパー」といふのはワイパーを掃除するものですか」と聞かれ、びっくりした。よく見るとワイパー取付け位置が一八〇度間違つていて、窓をふくべきところ、ボデーをこすつてゐた。(自衛隊の武器は大丈夫かな?)

(その二) 前記のワイパー幹部君車を買った。まわりのわんぱくが口をそろえてさわいだ。「この車はバックのギヤが無い、細い道に入つたらどうするのだ? 欠陥車だ!」早速納得し電話で販売店の担当者にも「もしも君の所から買った車はバックが無い欠陥車だ」と申し立てた。販売店の担当者の顔が見たかった。

(その三) 私の娘(E子)の友人で数理関係に明るいチャイニングな娘さんAちゃんにE子が話をした。「ところでAちゃんカマコって知ってゐる。あれはね板を上に乗っている。泳いでゐるのよ。寝る時は板を上に乗って、岩の間で寝てゐる。だから夜そつともぐつて取つてく

の発掘に当たっているが、仲間の会員の「生きがい」の為に少しでも役に立つならと努力している次第である。

シルバー人材センターは全国の各都市等(東京都区部では区毎)に設立されており、更に先に報道された所では、労働者はこの施策に力を入れ、今年度以降更に約百三十のセンターの設立を促進することになったのである。

信友会各位におかれても、第二の人生を卒業して更に生きがい求めておられる方々で未だ入会しておられない方は、居住される地域のシルバー人材センターに入会されたら如何であらうか。

最も長い小説は、フランスの作家ジュール・ロマンの『善悪の人々』全二十七巻であるといふ。

日本で最も長い小説は、山岡荘八の『徳川家康』で、単行本で二十六巻であるといふ。(ギネスブックから)

(その四) Aちゃん会社につとめていたがある時上司よりある会社の電話番号を聞かれた。早速Aちゃんその会社に電話して、「おたくの電話番号何番ですか? 交換手?」(Aちゃんは短縮ダイヤルを利用したのである。)

(その五) E子とAちゃんの外二名で旅行に行つた。レンタカーをかりるためAちゃんがレンタカーの営業所に行つた。その会話。

Q「どんな車がよろしいでしょうか」

A「女の子が四人乗れる車です」

Q「オートマがいいですか」

A「いいえ普通免許で乗れる車です」

Q「3ドアでよいですね」

A「ドアが一つあかないのですか」

Q「あなたが運転するのですか」

A「いいえ友人が運転します」

営業所の担当者やと納得しました。御苦労様でした。

(その六) 私の家にAちゃん始め数人の友人が集りました。4WDの話が出て、Aちゃん「ねえねえ4WDって何なの。免許を持ってゐる娘さんいやく4WDってね、4つのタイヤがバラバラに動くの。本当に免許持っていないのかな?」(おまけ)

電車の内より見たボスター「逃した魚は……泳いでゐる」(納得)

柏井澄夫

さて、情報・通信分野に目を向けると、超LSIのようなハード構成要素の開発やシステム化技術の進展に伴い、今日、情報処理関連のハードシステムは長足の進歩を遂げつつある。これと平行して、ソフトウェアを含む利用技術も着実に進歩しつつあり、両々相俟つて、INS、LAN、VANあるいは、CATV等の各システムの構築実用化の努力が、ダイナミックに展開されている。これらシステムの実用拡大に伴い、世は正に経済・社会活動の各方面にわたって、一大変革をもたらそうとしている。

このような世相の渦中において、陸上自衛隊においても、広い意味での情報処理といった面から、指揮通信システムのみならず各種ウエポンシステム等の効率化を図り、有効な防衛力の向上に努めないことと思われる。

ところで、陸上自衛隊では、昭和40年代後半に野戦ADPS開発を試みたが、その結果は「失敗」という評価を受けている。

しかし、古語に「失敗は成功のもと」とあるように、失敗から何物かをつかんで先へ進むためには、

ソフ面の洗練化の過程を経ずして、開発されたシステムが利用上適切でないか決めつけるのは短絡的でないだろうか。

一般に多くの情報処理システムが構築され稼動状態にあるが、定型的な事務処理以外は、あまり有効に機能していないのではなからうか。その大きな理由の一つとして、システムを使用して業務を遂行する人達や、利用する人達による実用テストを、テスト結果を分析してより有用なシステムの探索に役立たせるように、計画的、効率的にかつ、継続的に行う努力が、

園芸雑感

信友会員の皆様は、それぞれ高尚な趣味をお持ちでしかも玄人はだしの達人も多いところに、私がまし園芸について書くのもおこがましいのですが、ほかに得手もないののでお許し願いた。

幼稚園から約5年間を満洲の公主(中国東北部、長春の南)で過ごし、大陸的に育った私は子供の頃頃から昆虫、植物の採集育成に興味を深め、満洲事変の一月前頃に味方に転校しても展覧会に「ふんころがしに、牛馬糞を玉にしてころがし(が甲虫)の生態模型などを出して昆虫博士(または気狂い)」とおだて(けいべつ)られ、将来はその方面にでも、と思いながら時流の赴くところ軍人になった。

その後色々趣味も広がったが、潜在意識の中に常に之等への志向があった。戦後いい年をして捕虫網を振り回すのはばかられ昆虫方面は抑圧されたが、植物方面には漸く建てた住いの狭い庭を安価には造成しようとして、材料を探し始めたことから再燃し、園芸の分野に踏込んだ。

娘の幼いうちは、情操教育の一助になど、一年草の種蒔きから始め、小花壇に四季の花を咲かせせる努力もしたが、青森のチョウガ事務で維持できず、松葉ボタン、

三浦二郎

不足していることが指摘されよう。ところで、このテストには、形をなしたシステムがあることが必要である。当初は、どのようなシステムでもよい。それを用いて、テストにテストを重ねることである。そのシステムのまずさ加減を具体的にすることにによって、始めて望ましいシステムへの道が開けよう。なお、望ましいシステムとしての探索に当つては、検討の対象としているシステムを含むより高水準システムの部分としてとらえることが重要である。鹿を追う狼狽山を見ずの轍を踏まないために。

三 浦 二 郎

小輪パンジー、トレネヤ等の自生にまかせ、そのうちに、手間のかからぬ宿根草を主体に植えた。これは多忙（不精）な人間に適した方法とみて、今だに、早春は福寿草、クロッカス、雪割草、水仙などから始まり、ヒマラヤ雪の下、桜草類、すみれ、チュウリツ、ヒヤシンスと続きあやめ、鈴らん、美女桜、つゆくさ、おだまき、百合類、秋に入つて玉すだめ、ほとこぎす、菊類等々放つておいても順次咲いてくれる。

植木類は、あちこちからいただいたり、植木市などに眼を光らせて安い花木苗を見つけるほか、ハイキング、旅行はもとより、演習、出張等の機会にも秘めやかに収集努力をつづけた。あげくのはたけ何でも植えたくなるもので、小平駐屯地の桜、藤の実生、月桂樹のヒコ生え等いずれも3、4センチのものまで植えるに至つて「気の悪い話」と亡き母を果れさせた。

このように逐次植込んだものも、二十年以上の新陳代謝を至てお互いになじみ、それぞれ処を得て葉を揚げ、いろいろの思い出を語つてくれる。

あの岩ひばは、上野原の崖をよじ登つて、やぶこじは現地研究の時峠彦山で、はまなすは八戸の

鳥末稔

鯉の岬で、山つづじにはあはれは野て
あの高じやくれみは飛彈高山へ行
つた時、かくれみのは鳥羽で実生
を、あの肥後椿は日出台演習の帰
途、斑入の白鳥花は松町の挿木、
この石楠花は秩父の現観の時、そ
うだ大西課長は細葉の種類を買っ
たつて……と飽きない。暫くバラ
に凝った時もあり、新種を追わず
に安定したH.T種を集めた。暖か
い地方の倍の苦勞をするかわりに、
努力の甲斐あつて良い花が咲くと
実に楽しい。しかしこれもやがて
施肥、剪定、消毒がおくるになり
、あまり手間のからめつるばら
に切替えた。これは花つきがよく
毎年華麗に咲いてくれる。
数年前から知人にすすめられて

これからの生

先に發表された人口白書による
と、わが国の六十五歳以上の高年
齢者人口が、全人口の中で占める
割合は、昭和五十五年には九・一
%であつたのが、昭和七十五年に
は十五・六%になる見込みだそう
だ。

これらの六十五歳以上のお年寄
り一人を、生産年齢人口（十五歳
～六十四歳）の人達が何人で養つ
ていくことになるのかをみると、
昭和五十五年には七・二五人だつ
たのが、昭和七十五年には四・二
九人、昭和八十五年には三・三五
人、昭和九十五年には二・八二人
で支えていかなければならなくな
り、実に三人で一人のお年寄りの
面倒をみなければならぬことにな
るそうである。また、当然問題
になるそうでは、生産年齢人口の中
高年齢化（四十五歳～六十四歳）
である。働く人達のうち、四十五
歳以上の人が、昭和五十五年には
三十二・一%であつたのが、昭
和七十五年には三十四・六三%、
昭和八十五年には三十四・一三%と、
実に二・四人に一人が中高年齢者
ということになるそうである。今

でさえ自衛隊員の募集が困難なの

洋らん（カトレヤ系 胡蝶らん系 原種系）を始めた。主に初冬から早春の間に咲くものを集めたので、彩りの少い時期に室内を賑わしてくれる。とはいっても特に春、秋の日照と温湿度管理は家内に依存するところが大きい。

以上のようにな生来のサボハ、あまり手間をかけずに、しかも年中花を絶やさぬように工夫して来たのが、一応その目的を達し、近隣の方々と垣根越しの応答も楽しい此頃ではある。六十三歳に垂んと家内から、いずれは植木屋か園芸家の助手の口でも探しては……と言われているが、そのうちあまり動けぬようになったら本格的に園芸を楽しむかと思っている。

に、そのような時代になったら自衛隊は一体どうなるのであろうかと心配である。

いずれにしろ、世のため、人のために働けるお年寄りは、いついづまでも長生きされて、後輩の指導に御健闘をいただきたいもので、私のような体力以外に取柄の無い者は、体力を徐々に失っていくと、どう生きていくべきかと、しきりに考える今日この頃である。

幸か不幸か、肝炎で入院した時の旭川の医者と、胆のう炎で入院した時の福岡の医者と、お二人とも無類のヘビー・スモーカー＆ドリンカーであつたため、酒や煙草を推奨こそされなかつたが、今更にも禁酒・禁煙しても遅いといわれ、その御指導に従つて、今でも、煙草は一日六十本、酒は毎晩か少したことがなく、おまけに、油っこいものと塩かいらいものが好物とくくれば、長生きするはずがない。六十五歳まで生きることができれば、儲けものと考えている。

ただ、最近、禁煙がかしましく推奨され、喫煙が罪惡視されかねない状況になつてきて、愛煙家に

には、米国国は、低知識層か女性
 については病しいかきりてある
 のたまわつて、まるで野蠻人を見
 るような眼付きで喫煙者を見る者
 が居る。かういふ者にかぎつて、
 ごく最近まで尻から煙が出るくら
 い喫煙しており、やつと禁煙者の
 仲間入りできたばかりの者が多い。
 今更禁煙しても、寿命が延びる
 とは思われないが、禁酒、禁煙の上、
 病院の待合室を社交場としている
 薬漬けのお年寄りばかりが長生き
 していったら、わが国は一体どう
 なるのであらうか。それよりも、
 適当に酒と煙草を楽しみ、医者の
 御厄介などにならず、自然に生き
 て平均寿命ぐらゐを全うすれば、
 国も若者達も助かるのではなから
 うか。
 未だに不可解なことは、戦後の
 煙草消費量の伸び率と、平均寿命
 の伸び率との相関関係である。医
 学の発達の方が、喫煙による害よ
 り大きく勝つたといふのならば、
 国の大きな財源の一つである間接
 税を取えて減らすことはないと思
 う。
 ガンもあと十五年もすれば完全
 に予防できるものである。そして
 ら益々わが国の平均寿命は伸びび
 長生きすること自体が、大きな社
 会的問題になりにかねない。いやす
 でもう社会的問題になりつつあ
 る。その内、七十歳以上の生存者
 数制度が、七十歳未満物故者優
 遇制度に変わるかもしれない。そ
 れ以後は、適当に体を動かし、適
 当に酒と煙草を味わい、適当に恋
 せし、医業によりいたすらに延命
 せず、太く、短かく余生を楽しみ
 たいものと、ひたすら念願してい
 るが、果してどうなるであらうか、
 神のみぞ知る事柄である。

現在の信友会員数
 終身会員 七五六名
 準会員 八四七名
 計 一、六〇三名
 (59年10月25日現在)

沖繩を想う

下井 平三郎

永く防衛施設庁に出向し又退職後もしばしば基地の通信工事のため沖繩を訪れたので、彼の地の戦跡について一文を記し、第二次世界大戦で本土の盾となつてなくなつた方々に感謝の祈りを捧げたいと思います。

台湾が攻撃目標となるという情報で、沖繩から精鋭部隊が移動し、その後の再編成が完了しない昭和二十年四月一日、嘉手納へ十八万の米軍が上陸し、一五〇〇機の空爆は物量戦を主にした米軍故にどれほどの砲弾をここに打込んだ事か、じゅうたん攻撃で日本軍が追いつめられた様子が戦跡に立つと目に見えるようである。

豊見城に見る旧日本海軍司令部の壕は、ツルハシのあとと生々しく、地下二十五メートルの幕僚室は、壁に雨期に溜つた水と血で赤味をお

びた黄色の段がついており、ところどころが自決した時の手榴弾の破片でけずられていた。司令室の壁には太田実司令官の「大君の御はたのものと死してこそ、人と生まれし甲斐はありけり」という、見事な筆の辞世が残っていた。

この壕だけでも四〇〇〇名が亡くなったといふことで、弾薬、食糧、すべてが欠乏した中で、極限の隙間もない米軍に囲まれ、極限に迫られた時の人間は一体どんな状態になるのだろうか、戦争体験のない人にはこの悲惨さは到底理解出来ないと思う。

五十九年二月、信友会も二十周年を迎え、皆様の御理解ある御支援のもと無事、盛大に終ることができました。これも一重に皆様の御蔭と共に御慶び申し上げます。信友会も愈々成人の域に達したわけで、今後それなりに立派に末永く発展させたいと願っております。皆様の格別な御支援御叱責を賜わりたくお願い申し上げます。

二十周年を終えて

晴の叙勲 お慶び申し上げます。

59年11月3日
秋の生存者叙勲

勲四等 瑞宝章

日隈 次男 (元通信学校校長)

廣嶋 清彦 (元通信学校副校長)

勲七等 瑞宝章

田川 才吉 (元104基地通信大隊) (準会員)

現在の役員

(昭和60年2月1日現在)

会長 大河原三平 (第六代)
副会長 田中 邦明
幹事 下川 重夫
副幹事 野口 裕
監事 森 林
顧問 森 輝雄
顧問 英 明
顧問 弘 幸
顧問 依田 文彌
顧問 安崎 操
顧問 山本 義雄

鬼木大隊 全員集合

元一〇一(六五〇)方面通信大隊に在籍した有志は、母隊消滅後も折にふれて、河合・鬼木両大隊長を中心として東京で会合を続けてきた。昨年は鬼木・麻生両先輩の居住される九州に会場を移して別府に十三名が集合し、懐旧談に花を咲かせた。六十年は四月に札幌で実施すべく準備を進めている。もし幹事不行届のため二月末までに連絡もれれば参加希望者は信友会事務局で野口裕まで照会されたい。

編集後記

「信友」第六号をお届けします。昨年は創立二十周年を記念して雑誌形式の特号としましたが、今回は例年通りのタブロイド版です。乏しい運営経費の中での発行ですので御諒承下さい。

「信友」は毎年10月頃原稿を集めて編集します。自主投稿を大いに歓迎いたしますので、有志の方はその頃までに原稿を事務局まで御送付下さい。

59年度は非常に多くの方が停年をむかえられ、信友会員の数も増えました。新会員の方は、現役時代の御活躍を多くするとともに、今後は同じOB仲間として御交際の程お願いいたします。

それとともに、御逝去される方もぼつぼつ増えて参りました。誠に悲しい事ですが、それだけ信友会も歴史を経過していることでしょうか。

九州で 信友会!!

西部方面通信群は六十年三月、創立二十五周年を迎え、記念の諸行事を計画しております。とくに三月三日に予定する式典及び懇親会には、群出身者は勿論のこと、広く九州に在住する信友会員に対しても案内状を送付しています。信友会には名簿を提出する等、これに協賛していますが、この際訪問参加の希望をお持ちの方は信友会事務局へ御照会下さい。

事務局からの お知らせ

○会員の消息について

会員(含有資格者)の皆様には諸事業の連絡をいたしておりますが、御回答のない方、居所不明で連絡不能の方等があり、事務処理に困っております。これらの状況は検討のうえ、首信不通の会員は、住所等判明するまで連絡を停止することもやむを得ないものと考えております。各位の回りに該当の方がいましたら、御協力をお願いいたします。

○二十周年記念品及び名簿の領布について

現在、記念品(幸福の鈴)及び名簿(59・1・1作成)の在庫が若干あります。御希望の方がおられましたら事務局まで御連絡下さい。(各一、〇〇〇円)
○名簿代金納付について
本年度配布した名簿の代金(一、〇〇〇円)を未納の方は、納金をお願いいたします。

○新幹事の委嘱について

五十九年四月から「林 巖」氏が庶務担当幹事として新たに委嘱され、事務局が強化されました。氏は事務局がおかれていたR&A日に勤務しておりますので、信友会に関する連絡や問合せ等、御気軽に行ってください。

○会員加入の勧誘について

有資格者で終身会員になっておられない方が未だ相当おられます(準会員)。お気づきの方は本会の趣旨を話して入会されるよう御勧誘の程お願いいたします。(森)



第20回 信友会通信科 合同歓送迎会 風景

信友会 新入会員 名簿

(58年10月16日～59年10月25日)

35名

既発行名簿の修正(終身会員)

P	氏名	〒	現住所	自宅電話
1	青山 育汪	509-01	各務原市新鶴沼台2-41	(0583) 84-9040
2	朝倉 勇		転居先不明	
3	阿武 泰亮	759-37	山口県萩市三見705	(08382) 7-3517
5	池田 照彦	248	鎌倉市長谷1-13-29	(0467) 25-3413
5	石澤 恭一	334	鳩ヶ谷市桜町3-23-6	(0482) 85-7479
7	今村 秀敏	857-11	佐世保市天神町5-40-22	(0956) 32-4265
11	大逸 静夫	838-01	小都市三沢4225-351	(09427) 5-8371
11	大草 善明	242	大和市西鶴間2-26コーポ下鶴間5-551	(0462) 73-0345
12	大越 正和	203	東久留米市上の原2-7-42-307	(0424) 75-9201
13	大場 隆	228	相模原市相模台4-1-30	(0427) 43-3844
13	太田 公造	314-01	茨城県鹿島郡神栖町神栖2-1-37	(02999) 2-1446
15	鬼木 里志	814	福岡市城南区田島2-12-28	(092) 821-2552
16	川上 正	861-21	熊本市秋津町沼山津275	(096) 365-0409
18	北村 忠行	243-04	海老名市さつき町1-9-102	(0462) 32-6443
19	倉田 正昭	565	吹田市春日4-1-8エクセレント緑地公園505号	(06) 384-3533
21	小林 四郎	152	目黒区平町1-16-25	718-4722
22	後藤長七郎	862	熊本市健軍町3644-7	(096) 369-1259
24	佐藤 黎逸	010-01	秋田市金足小泉字湧向99-14	(0188) 73-2867
24	斉藤 利吉		転居先不明	
25	笹原 英樹	197	福生市福生2255-37	(0425) 51-4850
27	諏訪 賢司	375	藤岡市上戸塚104-3	(0274) 23-2111
27	菅 収治	252	綾瀬市大上三丁目15-12	(0467) 78-2187
30	田中 恭司	238	横須賀市森崎5-3-5	(0468) 36-7205
32	高島 弘	177	練馬区大泉学園8-19-2	925-3706
32	高谷 悦三	622	京都府船井郡園部町新町21	(07716) 2-0703
34	館岡 隆次	239	横須賀市浦上台2-31-9	(0468) 43-1708
35	千頭和好一	403	富士吉田市松山1143-19	(0555) 3-2515
39	中島 恪	811-02	福岡市東区和白丘2-10-8-201	(092) 606-3405
40	永田 秋雄	343	越谷市赤山町1-208-2	(0489) 63-0621
48	古谷 清	671-11	姫路市大津区真砂町39-1	(0792) 36-9055
49	保科 年夫		転居先不明	
49	本庄 雅直	177	練馬区大泉学園町7-1-30	922-4353
50	増子 友康	359	所沢市上新井853-12	(0429) 22-5569
50	亦野 進	330	大宮市丸ヶ崎町51-2	(0486) 83-3301
50	松尾 岩雄	651-12	神戸市北区筑紫が丘3-5-2	(078) 583-1148
54	森 繁實	813	福岡市東区唐原1-2-15	(092) 681-2515
55	山形不二男	202	保谷市中町1-11-19	(0424) 21-6426
57	横山 鉄	228	相模原市双葉1-1-38	(0427) 43-4850
58	吉田 正	194-01	町田市山崎町1964-5 町田山崎団地1-8-207	(0427) 91-8165
58	和田 久雄		転居先不明	
58	和田 頼彦		転居先不明	

氏名	〒	現住所	自宅電話	勤務先	電話	最終所属
青木 馨	152	目黒区鷹番2-12-14	716-2863	古野電気㈱	564-6678	調別(59.8.8)
浅山 正治	061-01	札幌市白石区もみじ台北5丁目9-2	(011) 892-2228			北通群(52.1.21)
荒川 四郎	164	中野区中野2-24-1-144	383-7020	関東東電気保安協会	984-5375	
荒木 貞夫	670	姫路市神田町3-4	(0792) 24-1321			中基通(45.12.1)
伊藤 長一	449-04	愛知県北設楽郡豊根村大字下黒川				中野通群(51.5.4)
池上 郁二	206	多摩市諏訪2-2-5-303	(0425) 74-3589	旭電機工業㈱	(0462) 63-4111	通団(59.7.13)
石川 潔	276	八千代市村上1113-1-1-21-102	(0474) 84-4523	京葉ロードメンテナンス㈱		調別(59.7.23)
牛山 正吾	187	小平市上水南町2-11-11-4	(0423) 24-3887	㈱東芝、小向工場	(044) 511-1111	通処(59.4.1)
内田 勤	319-11	茨城県那珂郡東海村大字石神内宿2248-5	(02929) 2-2198	自営		東通群(59.4.17)
内田 直幸	862	熊本市健軍町2707-13	(096) 367-0348			西通群(59.8.15)
遠藤 三男	204	清瀬市旭が丘2-2-2-202				
加茂 敏夫	203	東久留米市浅間町3-9-9	(0424) 24-3414	東洋通信機㈱	436-4070	通団(58.12.20)
柏井 澄夫	334	鳩ヶ谷市本町2-10-8	(0482) 81-3206	㈱気象データオペレーションズ	230-1646	幹校(49.4.1)
菅野 英治	187	小平市小川町1-414	(0423) 41-5269	㈱シーエスイー		通校(59.6.24)
桑原 三男	354	富士見市西みづほ台3-10-1-201	(0492) 51-6675	㈱光電製作所	441-1131	調別(59.7.20)
小森 邦治	527-01	滋賀県愛知郡湖東町下岸本100-1		ナショナル住宅産業㈱		中方(59.5.19)
佐々木 繁	332	川口市中青木3-9-2-407		富士通㈱		桧町業(59.4.1)
佐藤 忠	180	武蔵野市境南町2-12-8-511	(0422) 31-4127	自営		中資隊(56.3.31)
坂井 協司	239	横須賀市ハイランド3-4-7	(0468) 48-5847	横須賀商工会議所	(0468) 23-0400	通校(59.8.22)
瀬崎 幸	157	世田谷区喜多見6-11-8	416-7153	自営(自家用変電所の維持管理業務)		通処(59.4.1)
瀬田 実	349-11	埼玉県北葛飾郡栗橋町大字栗橋3078-7	(0480) 52-5700	関東東電気保安協会、埼玉事業本部	(0488) 33-5761	通処(59.4.1)
田中 希穂	234	横須賀市舟倉町1-241	(0468) 43-6533	野村証券㈱横須賀支店	(0468) 23-2550	通校(59.6.18)
高橋 篤	862	熊本市楠4丁目9-1		九州日本電気㈱		8通大(59.5.20)
高山 昌男	239	横須賀市久里浜3-15-7	(0468) 35-7914	日本産業警備保障㈱	506-5341	通校(59.8.3)
原田淳太郎	102	千代田区一番町29-2パレロワイヤル	234-3670 261-0803	進興ビル㈱	234-4561	中野通群()
林 加平	061-13	恵庭市島松本町723	(01233) 6-8817	㈱郷土建設		北処(59.5.31)
堀内 道夫	358	入間市新久970-30	(0429) 36-3484	安田火災海上保険㈱事務本部	(0422) 54-7111	調別(59.8.23)
波々伯部圭佑	910-37	福井市中野2丁目1106番地	(0776) 38-3215	福井工業大学、電気工学科	(0776) 22-8111	技本(59.)
松浦 昇	350-13	狭山市水野1306-23	(0429) 58-8548	日本電気㈱	454-1111	東北方(59.7.1)
松尾 雅史	241	横浜市旭区今宿東町832-1サニービル今宿27-306	(045) 955-0414	日本電気㈱衛星通信システム本部	(045) 932-1111	高射校(53.3.31)
松永 力	191	日野市多摩平6-6-6	(0425) 81-6733	富士通㈱	437-2111	東方(59.3.29)
松本 義和	963	郡山市大町2-19-10	(0249) 32-1248	第一生命	(0249) 22-7190	通団(59.3.23)
溝口 久夫	239	横須賀市舟倉町1371-1コーエイマンション402	(0468) 35-9332	菱電特機㈱	(0467) 43-1451	通校(59.6.22)
六反園敏男	354	富士見市大字水子5146-8		日本航空電子工業㈱		東北処(59.3.16)
渡辺 章三	329-15	矢板市片岡2095-123	(02874) 8-0307	高村電気㈱	(0282) 24-8487	通処(59.4.20)

新準会員名簿 (入会手続を
していない方)(58.10.16~59.10.25)
77名

氏名	現住所(電話)	勤務先(電話)	最終所属
あ 安達 正睦	〒874 別府市須賀東組一組 (0977-67-6506)	別荘重環サービス(株)	湯布院業 (59.4.5)
※ い 伊藤 正彦	〒134 江戸川区北葛西4-2-34日 商マンション202号(680-6764)	菱電特機(株)(342-2921)	通 団 (59.6.25)
池田 喜雄	〒816 春日市上白木1218- 2 (092-571-6338)	大正海上火災(株) (092-271-8705)	西 通 群 (59.4.1)
岩田 幸	〒487 春日市不二ヶ丘2- 121-4 (0568-51-4513)	オリンパス製糸(株)	1 0 通 大 (59.8.5)
お 小倉 晴三	〒664 伊丹市東野8-60- 1	国際警備保障(株)	中 方 通 群 (59.7.16)
小田 徹	〒066 千歳市信濃2-20- 2 (0222-71-2846)	北建サービス(株)	北 通 群 (59.7.8)
小野寺季夫	〒983 仙台市旭ヶ丘4-11- 25 (0222-71-2846)	協栄生命保険(株)	東 北 処 (59.5.20)
小原 市美	〒066 千歳市信濃3-22- 10	日本赤十字社 血漿分画センター	7 通 大 (59.5.20)
※ 小山田 晋	〒061-11 札幌市旭島町栄 町3-6-4 (01137-3-4934)	イワクラホーム(株) (011-841-7821)	北 処 (59.8.14)
織田 恒恵	〒818 筑紫野市大字俗明院 322-11 (092-925-1307)	西光建設(株) (092-582-4542)	西 通 群 (59.4.15)
大熊幸太郎	〒350 川越市石原町2-48- 38 (0492-25-5682)	静岡県電気保安協会	1 通 大 (59.9.17)
大西 静雄	〒239 横須賀市長沢2025- 144	横須賀情報処理センター	通 校 (59.7.2)
太田 茂男	〒276 八千代市大和田80- 4 (0474-82-5364)	池田産業(株)	高 射 校 (59.8.7)
岡田 博幸	〒239 横須賀市馬堀海岸1- 1-F-504 (0468-43-0496)	東京綜合警備保障(株) (585-5621)	中 野 通 群 (59.9.16)
か 加来 俊彦	〒860 熊本市草場町4-6 (096-355-2007)	南光信堂 (096-380-5030)	西 通 群 (59.5.7)
加藤 正	〒030 青森市大字三内字沢 部234-16	㈱みちのく銀行	(59.5.8)
片岡 直利	〒880 宮崎市丸山2-297 (0985-29-6629)	㈱宮崎県プロパンガス 協会	都 城 業 (59.5.1)
き 木村 太	〒080 帯広市南町南7線28- 64	帯広タクシー協会	北 通 群 (59.7.23)
く 栗木 之雄	〒870-11 大分市且野原ハ イツ900-137	㈱山村産業	(59.7.27)
黒田 運吉	〒061-21 札幌市南区南35条 西9丁目448 (011-581-0157)	㈱拓銀ビジネスサービス	北 通 群 (59.8.30)
こ 小島 義徳	〒838 甘木市大字小田2022- 2 (09462-4-3220)	ビル総合管理(株) (092-431-6108)	西 通 群 (59.10.17)
小室 佐吉	〒001 札幌市北区屯田3条 6丁目6-1 (011-772-4874)		北 通 群 (59.4.17)
古崎 清	〒861-21 熊本市秋津町沼山 津557-5 (096-367-4070)	㈱中央電子工業熊本支店 (09643-2-2730)	西 通 群 (59.4.18)
児玉 次男	〒011 秋田市飯島字葉師田 8-8	東方工業(株)秋田出張所	(59.4.4)
河野 吉明	〒782 高知県香美郡土佐山 田町621-3 (08875-2-2883)	(医法) 香北病院	中 方 通 群 (59.6.10)
今野 稔	〒989-16 宮城県柴田郡柴田町船 岡2-5-22 (02245-4-3919)	㈱柴田電子 (02248-3-4844)	東 北 通 群 (59.7.5)
さ 棧敷 郁男	〒985 多賀城市伝上山2- 27-2 (02236-5-1902)	七十七銀行東仙台支店	東 北 通 群 (59.6.22)
斉藤 昭	〒983 仙台市福室字平柳49- 3	朴佐藤(株)仙台支店	(59.7.1)
※ 沢瀬 功武	〒983 仙台市栄4-22-24 (0222-59-0177)	東京海上火災保険(株)石巻 支社 (0225-93-7066)	仙 台 地 病 (59.8.23)
し 志賀 格司	〒229 相模原市古淵1800- 24	在日米陸軍図書部	(59.5.6)
※ す 末永 孝耶	〒982 仙台市緑ヶ丘4-13- 11 (0222-48-7538)	㈱オリエントファイナ ンス仙台支店	東 北 飛 隊 (59.9.28)
菅原 善志	〒983 仙台市燕沢2-14- 46 (0222-51-5034)	日本電気 フィールドサービス(株)	東 北 通 群 (59.5.12)
※ そ 副島 岩夫	〒840 佐賀市唐人2-7- 16 (0952-23-7092)	日新エンジニアリング(株) (0952-29-0036)	九 処 (59.9.2)
た 田中 耕介	〒239 横須賀市根岸4-36- 6	富士ハイウェイサービス (株)	(59.4.1)
田村 稔夫	〒359 所沢市新井2-165 (0429-43-0326)	㈱インテック	中 基 隊 (59.5.22)
○ 太宰 清	〒960 福島市岡部字東町67- 1 (0245-33-8025)	福島東洋通信機	東 北 通 群 (59.9.28)
高橋 昭夫	〒981-31 泉市向陽台2-4-5レジ デンス向陽台103 (02237-2-6505)	協和電設(株)	施 設 庁 (59.6.10)
高橋 源吉	〒980 仙台市八幡3-8- 7	同和警備(株)	東 北 通 群 (59.5.1)

※の方は、59.10.25以降に入会手続をなされました。

氏名	現住所(電話)	勤務先(電話)	最終所属
た 高橋 行雄	〒031 八戸市大字河原木字谷 地畑78-21 (0178-28-4785)	㈱ユニバース	5 高 群 (59.6.1)
高松 信測	〒802 北九州市小倉北区三郎丸 2-8-32-305 (093-931-8580)	西日本銀行豊後高田支店 (09782-2-3160)	西 通 群 (59.10.15)
竹内 勝次	〒665 宝塚市旭町3-119- 2	東京海上火災保険(株)	(59.4.22)
な 中尾 亨	〒838-01 小都市三沢5011- 59 (09427-5-0691)	㈱小郡カントリークラブ	西 通 群 (59.6.2)
中村 進	〒370-35 群馬県群馬郡足 門1417-51 (0273-73-4766)	日立間電子(株) (0273-52-2111)	1 2 通 大 (59.9.26)
中村 壽朗	〒412 御殿場市新橋1613	㈱虎屋	富士教導団 (59.7.31)
に 新島 静馬	〒362 上尾市大字上359シラコバ ト団地17-503 (0487-71-8805)	日進電子(株) (0488-55-3761)	通 処 (59.7.15)
西村加登美	〒800-02 北九州市小倉南区 大字朽網430-59	三井信託銀行(株) 北九州支店	(59.4.15)
西村 文男	〒352 新座市栗原4-4- 12 (0424-22-2032)	安藤電気(株) (733-1151)	通 団 (59.8.3)
ね 根岸 慶忠	〒236 横浜市中心区金沢町 73	㈱団地サービス関東支社	通 校 (58.4.1)
の 野中 直正	〒861-21 熊本市秋津町沼山 津2080-11 (096-367-8375)	中央電子工業(株) (09643-2-2730)	西 通 群 (59.6.1)
は 橋本 孝	〒910-25 福井県今立郡池田 町山田第31号10番地	三維包装(株)	中 方 通 群 (59.5.14)
ふ 古川 文利	〒862 熊本市若葉5-1- 37 (096-369-1079)	九州日本電気(株)	西 通 群 (59.9.10)
藤森 廣仁	〒611 宇治市木幡南端40- 19 (0774-32-5731)	共立電線(株)	関 処 (59.4.1)
ほ 外園 健一	〒861-21 熊本県上益城郡益城町 馬水727-25 (096-286-8569)	㈱呉服の鳥居 (096-369-8111)	西 通 群 (59.5.14)
堀合 久之	〒041 函館市本通り1-46- 8	北海道相互ドライブ 協会	(59.6.13)
ま 前原 忠徳	〒838-01 小都市大板井700- 47 (09427-2-3341)	東京海上火災保険(株)	調 別 (59.9.29)
升田 正己	〒982-02 仙台市太白2-2- 19	㈱仙台精密機械研究所	東 北 通 群 (59.5.19)
松田 羊正	〒192-03 八王子市鹿島8- 1-301 (0426-76-6973)	(社)東京簡易ガス協会	中 基 隊 (59.5.17)
松本 光弘	〒862 熊本市健甕町3372- 7 (096-369-7422)	三菱電機(株)熊本第2工場 (09624-2-0151)	西 通 群 (59.7.11)
み 三谷 秋良	〒780 高知市福井町528-4 (0888-73-5043)	大橋木工(株) (0888-47-5767)	2 教 団 (59.8.10)
三富 裕二	〒238 横須賀市大矢部5- 5-14	㈱団地サービス 神奈川支社横浜支店	通 校 (59.4.1)
三宅 清	〒061-21 札幌市南区真駒内 泉町4-3-15	㈱札幌不二ホテル	北 通 群 (59.7.18)
む 村嶋 三次	〒143 大田区大森本町1- 1-1-405 (761-5931)	東洋信託銀行五反田支店	中 調 隊 (59.4.1)
村田 祐一	〒080 帯広市西2条北2- 15-7 (0155-25-4450)	北海道データサービス(株) (0155-26-2884)	5 師 団 (59.8.24)
も 本林 高利	〒981-31 泉市歩坂町11-12 (02237-3-7447)	サトウ商会 (02237-3-3391)	東 北 通 群 (59.7.3)
や 山岡 俊夫	〒239 横須賀市浦賀丘2- 19-10 (0468-41-4389)	協和銀行戸部支店 (045-231-3131)	通 団 (59.6.7)
山口 泊	〒849-53 伊万里市松浦町山 形8395 (09552-6-2182)	㈱セントラルファイナ ンス西日本伊万里支店	西 通 群 (59.6.11)
山口 正男	〒811-33 福岡県宗像郡津屋崎 町津屋崎359 (09405-2-2515)		通 団 (58.12.1)
山田 兵衛	〒981-31 泉市長命ヶ丘2- 6-2 (02237-8-6058)	フタバハウス(株)	東 北 通 群 (59.5.16)
ゆ 湯澤 榮男	〒230 横浜市鶴見区下末吉 2-16-3	東急コミュニティ(株) 横浜営業所	通 処 (58.4.1)
遊佐 弘	〒963 郡山市久留米4-32 (0249-45-1767)		東 北 通 群 (59.8.19)
よ 横石 幸男	〒464 名古屋千種区若水 2-1-3	(社)中部建設協会	1 0 通 大 (59.5.1)
吉川 巖	〒651-12 神戸市北区緑町6- 3-4 (078-583-0563)	日本通信建設(株)大阪支店 (06-976-5544)	3 通 大 (59.8.2)
吉田 哲夫	〒356 上福岡市上福岡4- 13-15	㈱東宝	1 通 大 (59.5.17)
わ 和田弥三郎	〒350 川越市大字増形596- 44	武蔵野美術大学	1 通 大 (59.6.17)
若林 弘	〒221 横浜市神奈川区西大 口183-8	東急コミュニティ(株) 横浜営業所	通 処 (58.4.1)
若松 一馬	〒351 朝霞市泉水2-6- 28 (0484-63-1877)	渡辺学園	1 通 大 (59.9.22)
渡辺 充生	〒861-11 熊本県菊池郡西合志町 須屋116 (09624-338-8114)		西 通 群 (59.8.15)